

学校だより

1
月号

H P <http://es.shimokitayama-ed.org/>

令和2年1月7日 下北山小学校学校

あけましておめでとうございます

しよしゆん れいげつ 初春の令月にして
きよ かぜやわら うめ 気淑く風和ぎ 梅は

きょうぜん こ ひら らん はいご こう かおら
鏡前の粉を抜き 蘭は珮後の香を薫す

「春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人一人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができるように」と願いが込められた元号「令和」で初めての正月、新年明けましておめでとうございます。今年の子（ねずみ）年、十二支の1番目の年になります。子年は新しい運気のサイクルの始まりと言われます。植物に例えると成長に向かって種子が膨らみ始める時期であり、未来への大いなる可能性を感じることができる年なんだそうです。「1年の計は元旦にあり」という言葉を覚えていますか？2学期の終業式でお話をしましたね。年始めにみなさんが決めた今年の目標や夢は、きっと叶います。ただし、願うだけでは実現はできません。夢や目標に向かってコツコツと努力すること、失敗してもあきらめず何度もチャレンジし続けることが大切です。しんどいのは頑張っているあかしです。みんなで声をかけ合い、力を合わせてしんどいことをのりこえ、大きな実りある年になるように頑張っていきましょう。

ところで、どうしてねずみが十二支で1番目なのでしょう？
こんなお話があります。



大昔のこと、神様がこう言いました。「1月1日元旦の朝に挨拶に来た12番目までを、毎年交代でリーダーにして仕事をしてもらう」

動物たちは、我こそが一番になろうと思い、前日の夜・当日の早朝から、それぞれ神様のもとを目指します。牛は自分が歩くのが遅い事を知っていたので、前日の夜から歩きはじめました。賢いねずみは、牛が前日の夜から歩きはじめるだろうと予想していたので、牛に乗って牛と一緒に出発します。前日から出発をしていた牛は他の動物より先に神様の所にたどりついたのですが、到着寸前にねずみが飛び出して一番に挨拶をしたことから、最初にねずみ、次に牛という順番となりました。牛は2番目になったからと言って怒るのではなく、「2番目だったら満足だ」と思ったそうです。虎は神様のお話を噂で聞いたので、半信半疑のまま参加しま



した。もし本当だったときにはじをかくのは嫌だったのです。結果として本当の話だったので、虎は3着になりました。兎（うさぎ）は4番目になりますが、これは兎うさぎの後に続いた動物よりも足が速かったわけではなく、み

んなが休憩をしている間もぴょんぴょんと進んでいた事から4番目になったとされています。龍（辰）と蛇の順番が決まった理由についてですが、そもそも龍と蛇は一緒に神様の元に到着していました。しかし、蛇は龍が空を飛べるほどに修行を積んだ、尊敬に値する存在であることを知っていたので、龍に順番を譲ったのです。昔から仲が悪いことを「犬猿の仲」と言いますが、猿と犬の間に鳥が入っているのは、猿と犬の喧嘩の仲裁をしたことが理由と言われています。最後に到着した猪ですが、実は順番としては最初に到着していたはずでした。しかし、まっすぐにしか走れなかったことから、神様のところを通り過ぎてしまい、結果的に12番目となってしまったのです。君の干支は何番目かな？

ご協力お願いします！！

学校を知らない、学校という文字さえ知らないという大人が世界には5人に1人もいると言われていいます。世界には、学校に行きたくても行けない子どもがたくさんいます。書きそんじはがきで、そんな子どもたちを応援することができます。

ご協力頂ける方は、1月20日以降にお子さまを通して学校までお願いします。



行事予定

- 7日(火) 第3学期始業式・部団会 下校バス11:00
- 8日(水) 給食開始 体位測定 安全点検
- 9日(木) つちのご開始
- 10日(金) 全校写真
- 15日(水) 保健集会
- 22日(水) 集金日
- 27日(月) なかよし集会
- 30日(木) PTA役員会
- 31日(金) 漢字検定
- 2月
- 3日(月) 体重測定
- 5日(水) 安全点検
- 7日(金) 体験入学(保育園児)